



柿崎区地域協議会だより



発行：柿崎区地域協議会 事務局：柿崎区総合事務所 総務・地域振興グループ TEL025-536-2211

令和4年度 地域活動支援事業の事業提案を募集します

市では、身近な地域自治を推進するため、地域活動支援事業を実施します。地域の課題解決、活力向上のために自発的・主体的に行う地域活動に対して補助金を交付します。柿崎地域をもっと住みやすく、もっと元気にするために、当事業を活用してみませんか。

※令和 4 年度の本事業の予算は、令和 4 年第 1 回（3 月）上越市議会定例会での議決をもって成立します。

■事業の内容

団体等が主体的に取り組む活動に対し、市が補助金を交付します。

■事業提案できる団体の要件

5人以上で構成し、市内で活動する法人または団体（政治や宗教活動を目的とする法人等や営利法人は除く）

■柿崎区の予算（配分額）

710万円 ※残余が生じても追加募集は行いません。

■補助率と補助金額

補助金の額は、補助対象経費に次の率を乗じた額とし、100万円を限度とします。

- ① 継続事業 10分の9（採択数1回）
- ② 継続事業 10分の8（採択数2回以上）
- ③ 新規事業 10分の10

■事業の採択までの流れ

①事前相談

3月31日（木）まで
事前相談は、新規・継続に関わらず必要です。

②事業提案書の募集期間

4月1日（金）～20日（水）

③基本審査・採択方針の審査

5月10日（火）

④プレゼンテーション

5月24日（火）

新規事業は必須です。継続事業は、地域協議会からの要請または団体からの希望により行います。

⑤採択決定

6月7日（火）

【問合せ】

総務・地域振興グループ
☎ 536・6701

【優先して採択する事業】

柿崎区の地域資源を生かし活力ある魅力的なまちづくりを推進するため、団体等の自主的、主体的な取組のうち、次に掲げるものを優先的に採択します。

- (1) 地域の歴史、文化や伝統の保存、活用に資するもの
- (2) 子どもたちの健全育成に資するもの
- (3) スポーツや体力づくりをとおして住民の健康増進に資するもの
- (4) 特産品の開発等により地域産業の活性化に資するもの
- (5) 観光資源の活用により知名度向上や交流人口の増加に資するもの
- (6) まちづくりを担う人材育成に資するもの
- (7) 地域の環境美化に資するもの
- (8) 姉妹都市を含む他の地域との交流・連携を推進するもの
- (9) 安全・安心な地域づくりに資するもの

頸北地区地域協議会委員が地域の課題を協議

1月25日、柿崎、大潟、頸城、吉川各区の地域協議会委員による合同研修会を柿崎地区公民館で開催しました。この研修会は、毎年各区の持ち回りで開催されるもので、地域の課題に対する意見交換と講演会が行われます。今回は、31名が参加しました。

第1部の研修は、柿崎区地域協議会が自主的審議事項として取り組んでいる「公共交通のあり方について」と「空き家の活用について」の2つの課題に、7〜8名ずつ、4つの分科会に分かれて研修を行いました。各分科会では、柿崎区での取り組みが紹介された後、各区の現状や課題について話し合いを行いました。

その後の全体会で、各分科会の代表者4名が、意見を発表を行いました。同じテーマでも、各区の立地により現状に違いがあり、今後もこうした研修が、各区の課題解決に必要な意見がありました。

第2部の講演は、「近代日本の立役者・前島密」と題して、前島密記念館館長の利根川文男様から資料やプロジェクトを使つての講演が行われました。前島密というと「日本近代郵便の父」と呼ばれ、現在でも一円切手の肖像として有名ですが、郵便関連の他、東京遷都、国字国語の改良、海運、新聞、電信・電話、鉄道、金融、教育、保険など、その功績は多岐にわたることが紹介されました。また、昨年の大河ドラマの主人公である渋沢栄一と明治2年に出会って以来、生涯にわたって親交を深め切磋琢磨した仲であり、まさに近代日本の立役者であることが分かりました。

(委員 片桐 充)

前島密記念館 紹介



郵便の父と言われる前島密の生家跡に 1931年（昭和6年）11月7日に建てられた記念館です。明治の文化・政治に幅広く力を振るった前島密の姿を、多くの資料と遺品で紹介しています。

わが国の通信事業創設に当たって、多大な功績を残した前島密の偉業を記念するため、生誕の地（新潟県上越市、上野家屋敷跡）に建設されました。館内には、前島密の業績を分かりやすく紹介するパネル展示をはじめ、当時の手紙や前島密の遺品、遺墨（絵や絵画）など約200点の展示物を見学することができます。

- 開館／午前9時～午後4時
 - 休館／月曜日（月曜日が祝日、振替休日の場合は火曜日）
 - 入館料／無料
- 〒943-0119 上越市下池部 1317-1
☎025-524-5550



分科会



全体会

まちづくりフォーラムを開催し活気ある柿崎区を考える

2月20日、柿崎区地域協議会は、柿崎コミュニティプラザ4階ホールで「まちづくりフォーラム」を開催しました。新型コロナウイルス感染症対策を行いながらの開催となりましたが、52人の多くの方々からお越しいただきました。まちづくりフォーラムでは、柿崎区地域協議会の活動報告、令和3年度地域活動支援事業の成果発表、令和4年度の地域活動支援事業の概要説明、講演会を行いました。

最初に、地域協議会の活動報告を行い、「地域の交通を考える会」が柿崎まちづくり振興会に路線バス廃止後の代替交通運行の検討をお願いしたことを説明しました。現在、柿崎まちづくり振興会で検討が進められています。

また、「柿崎空き家活かそうプロジェクト」では、空き家の利活用を検討してきましたが、問題・課題が山積していることから、今後も検討を継続していくこととなりました。

次に、「柿崎農業の未来を考える会」「柿崎まちづくり振興会」「自衛隊音楽隊 in 柿崎実行委員会」の3団体が地域活動支援事業の成果発表を行いました。地域振興のために地域を元気にしたいという思いを聞き、地域活動支援事業費補助金を活用し実施してきた事業が、これからも継続できるように地域協議会で検討していきたいと思っています。

講演会では、「矢代古民家活用の会」代表の田中功さんを招き、「地域活動と地域の未来」をテーマにお話ししていただきました。矢代古民家活用の会の皆さんは、古民家を活用し地域活性化を図り、地区の人々の憩いの場、地区外の人々との交流を目標に日々活動をしています。古民家取得や会の立ち上げの経緯、古民家の改修、地域活動のポイントなど多くのことを学ぶことができました。(委員 片桐宏樹)



矢代古民家活用の会の講演



地域協議会の活動報告



交流施設「古民家カフェ矢代」



柿崎農業の未来を考える会による成果報告

柿崎区地域協議会の主なうごき(令和3年12月～令和4年3月)

会議名	開催月日	主な内容
第 10 回地域協議会	12 月 21 日	自主的審議事項を審議する委員会の構成について
第 12 回柿崎空き家活かそうプロジェクト会議	12 月 23 日	地域の活性化等を目的とした空き家活用の具体案の検討
第 11 回地域協議会	1 月 18 日	令和 3 年度 頸北地区地域協議会委員合同研修会について
第 2 回まちづくりフォーラム実行委員会	1 月 18 日	まちづくりフォーラムの役割分担等について
第 13 回柿崎空き家活かそうプロジェクト会議	1 月 21 日	地域の活性化を目的とした空き家利活用推進の具体案の検討
頸北地区地域協議会委員合同研修会	1 月 25 日	分科会及び講演
第 1 回みんなの保育園を考える会(仮称)会議	2 月 14 日	前期の活動経過説明、今後の委員会の進め方
第 12 回地域協議会	2 月 15 日	令和 4 年度地域活動支援事業について
令和3年度まちづくりフォーラム	2 月 20 日	地域協議会の活動報告、地域活動支援事業の成果発表、講演
第 14 回柿崎空き家活かそうプロジェクト会議	2 月 24 日	町内会長へのアンケート内容及び依頼文の検討 空き家活用支援策チラシの内容の検討
第 13 回地域協議会	3 月 15 日	令和 4 年度柿崎区における主な事業について
第 15 回柿崎空き家活かそうプロジェクト会議	3 月 24 日	地域の活性化を目的とした空き家利活用推進の具体案の検討、中間報告の検討
第 2 回みんなの保育園を考える会(仮称)会議	3 月 24 日	今後の委員会の進め方

【編集後記】

局所的な大雪に見舞われた冬も、3月の声と共に急に春らしくなってきました。コロナ感染症で閉じこもった生活に慣れていた方々も、植物の芽吹きやつぼみを目にして元気をもらっているのではないのでしょうか。未だにコロナ感染対策に四苦八苦されている皆さまも多いことと思いますが、新しい生活様式を上手に取り入れ、コロナ感染症と上手に付き合っていきたいものです。

さて、地域協議会では、先般、『まちづくりフォーラム』を開催いたしました。多くの皆さまにご参加いただき大盛況のうちに終えることができました。ご参加いただきました皆さまはじめ関係者の皆さまに感謝申し上げます。

今回の地域協議会だよりでは、まちづくりフォーラムにご参加いただけなかった方々にも、柿崎区の伝統が若い世代に引き継がれていくことを願って開催したフォーラムの熱気を感じ取っていただける内容に編集しました。

(薄波清美 記)

編集委員長 片桐 充
編集委員 岩野秀樹 薄波清美

貝谷雅子 片桐宏樹
小出祥世 小山 慶